

★ 5か年の施策展開の戦略ワード「鹿沼+（プラス）」

「鹿沼みらいビジョン」では、これまでに引き続き「協働・共創」、そして新たに「Made in 鹿沼」をまちづくりのキーワードとしました。

「鹿沼2030プラン」では、さらに施策展開の戦略ワードとして「鹿沼+（プラス）」をプラスし、鹿沼の魅力のアピールや関係人口の増加に結びつく事業を、市民の皆さんや企業の皆さんと展開していきます。

★ “みらい”への重点プログラム ～みんなが住みたいライフタウンを目指して～

市民の皆さんはもちろん、市外、県外、国内外の人たちも住みたい、住み続けたいと思えるまちをつくるため、次のプログラムを重点的に推進します。

1

「健康都市宣言のまち」 人生100年時代の健康づくり

- ・9月を“健康都市推進強調月間”として、集中して官民連携による市民の健康意識を醸成
 - ・健康増進プログラムの構築と展開 など
- “健康都市”をアピール

2

「こどもと過ごしやすいまち」 すこやかな成長を応援

- ・結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の拡充
 - ・いちごっこ出産・子育て応援給付金 など
- “子育て支援充実のまち”をアピール

3

「文化の薫るまち」 文化財の保護と新たな市民活動の促進

- ・「鹿沼ルネサンス構想」を指針とした新たな文化芸術の地域づくり
 - ・まるごと博物館事業の推進 など
- “レベルの高い市民活動”をアピール

4

「市民のチカラをあわせて守る」 総合防災対策

- ・防災倉庫と避難所の市内各地への再配置
 - ・自主防災体制づくりの促進 など
- “安全安心のまち”をアピール

5

「みんな大好き鹿沼」 知名度アップ作戦

- ・「キャンプ+（プラス）」観光戦略
 - ・目指せ10億円、ふるさと納税の倍増
 - ・「東京サテライトオフィス」の営業活動 など
- “鹿沼”をアピール

6

広域交流拠点づくり

- ・新たな産業団地の整備と「さつきの聖地」花木センターのリニューアル
 - ・東北自動車道スマートインターチェンジ整備推進と新たな広域連携軸の形成 など
- “ポテンシャルの高さと首都圏・宇都宮への利便性”をアピール

7

西北部 「水とみどりのふるさと」の創造

- ・南摩ダムを拠点とした新たな回遊戦略の展開
 - ・“アウトドアの聖地”アピール作戦 など
- “豊かな田舎暮らし”をアピール

8

中心市街地 「みんなが集う楽しい街」の創造

- ・創業支援、空き家・空き店舗の活用促進
 - ・URやまちづくり団体、企業等との協働によるリノベーションまちづくりと賑わいの創出
- “楽しい街暮らし”をアピール

+1

市制80周年記念事業

- ・令和10年10月10日に市制施行80周年を迎えることから、これまでの歩みを振り返り、さらに飛躍するための新たな出発の年と位置付け、各種施策を展開
- “みんなが住みたいまち鹿沼”を全国にアピール

発行：鹿沼市総合政策部総合政策課

電話：0289-63-2146

URL：<https://www.city.kanuma.tochigi.jp/0366/info-0000011019-0.html>



★ 鹿沼みらいビジョン（基本構想）

鹿沼の“みらい”

先人が守り築いてきた、このふるさと鹿沼は、自然環境と地理的条件に恵まれた暮らしやすいまちです。私たちは、このふるさとでの暮らしやすさをレベルアップするために、みんなで“協働・共創”のまちづくりを進め、“みらい”の鹿沼をつくっていきます。

その“みらい”にあっても、花と緑と清流が美しい豊かな自然環境と歴史と伝統に育まれた文化があり、そこには笑顔あふれるやさしい人たちが健やかで、心豊かに、助け合いながら暮らしています。

そして、不変の財産である恵まれた地理的条件や多彩な資源と産業の蓄積を礎に、さらに多くの新しい“鹿沼産”を全国、世界に発信しています。

さらに、伝統の継承と新たな交流によって生み出される“鹿沼発”の文化、スポーツ、産業、福祉など様々な活動やイベントに、鹿沼が大好きな多くの人々が集います。

“みらい”の鹿沼は、その多様な魅力に惹かれてみんなが住みたいくなるまちです。

・・・私たちが目指す“みらい”の鹿沼のイメージは



豊かな自然と文化につつまれ

人が輝き 地域が輝く みんなが住みたいまち



まちづくりのテーマ

- 1 みんなが こどもたちを健やかに育て 一人ひとりを尊重して暮らす「心豊かなまち」
- 2 みんなが 心も体も健康で 互いに支え合い思いやりをもって暮らす「健やかなまち」
- 3 みんなが 魅力と実力を認識し 交流を広げながら楽しく暮らす「誇れるまち」
- 4 みんなが 生きがいをもって働き 賑わいを創出し 豊かに暮らす「活力あるまち」
- 5 みんなが きれいな環境と安全安心な地域のなかで 助け合いながら暮らす「快適なまち」
- 6 みんなが 情報を共有し 必要な行政サービスを受けながら便利に暮らす「開かれたまち」

“みらい”に向かって まちづくりのキーワード

協働・共創

市民の皆さんと行政が、それぞれ持てる力を出し合い、ともに手を携え、鹿沼の“みらい”を創ります。

Made in 鹿沼

鹿沼の文化や産業の歴史と伝統を大切に守りながら、新たな個性も加え、多くの新しい“鹿沼産”、“鹿沼発”の魅力を生み出し、「Made in 鹿沼」として発信します。

★ 市長あいさつ

鹿沼市長 松井 正一

この度、第9次鹿沼市総合計画を策定いたしました。

この計画は、変化が激しい予測困難な時代にあっても、鹿沼市が持続的に発展していく道筋を示す羅針盤であり、また、市民の皆さんが主役となって進めるまちづくりの指針となるものです。

私たちのふるさと鹿沼は、豊かな大地と自然に抱かれ、悠久の歴史と伝統が息づき、それらを背景として発展した文化や産業・技術は、私たちのかけがえのない財産であります。



この計画の策定にあたっては、総合計画審議会の皆さんはもとより、地域の皆さん、産業界・金融界の皆さん、市民活動団体の皆さん、若者世代や子育て世代の皆さん、そして外国籍の皆さんなど、様々な立場の方と直接語らい、沢山の夢を聞かせていただきました。

一つでも多く、それらを実現できるよう、私も全力で邁進しますので、引き続き、皆様のご協力をお願いします。

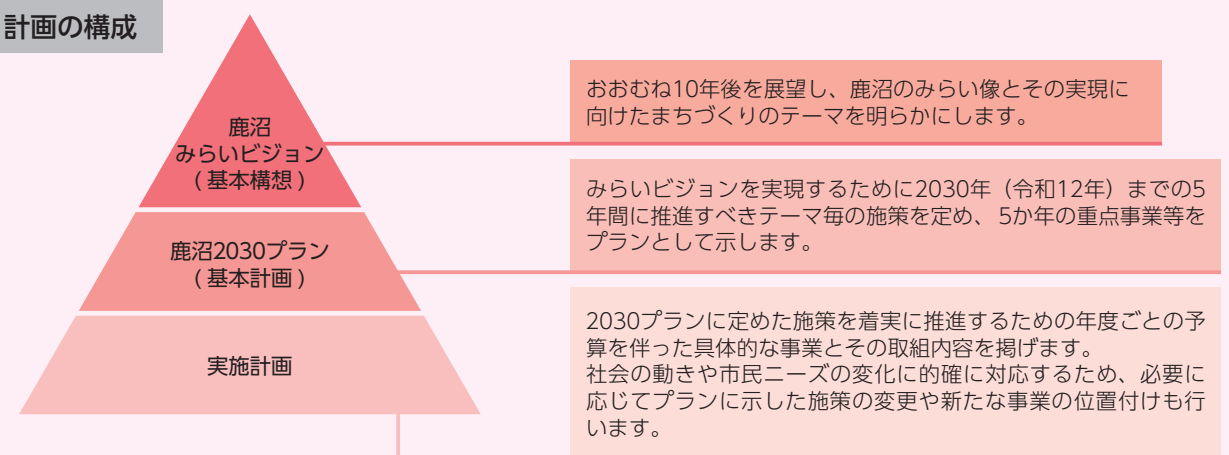
本計画に掲げた「豊かな自然と文化につつまれ 人が輝き 地域が輝く みんなが住みたいまち」の実現に向け、ともに“みらい”に向かって歩みましょう。

令和8年3月

★ 計画のかたち

鹿沼のみらい像とまちづくりのテーマを明らかにし、その実現のための施策展開の方向を「鹿沼みらいビジョン（基本構想）」として示すとともに、具体策の推進にあたっては、5か年の「鹿沼2030プラン（基本計画）」及び単年度の実施計画を策定し、変化の激しい社会・経済情勢に柔軟に対応します。

計画の構成



5 年間の施策展開

大項目
1

みんなが子どもたちを健やかに育て
一人ひとりを尊重して暮らす「心豊かなまち」

- 子育て支援の充実
 - 結婚や妊娠・出産への希望をかなえる支援の充実
 - 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実
 - 子育て環境の充実
 - 支援が必要な子ども・家庭への支援の充実
- 学校教育の充実
 - 主体的に学びに向かうこどもの育成
 - 豊かな心と健やかな体の育成
 - 教育的ニーズに応じた支援の充実
 - 地域で育む教育の推進
- 教育環境の充実
 - 安全で快適な学校づくり
 - 就学環境の充実
 - 安心安全な学校給食の提供
- 人権啓発・男女共同参画の推進
 - 人権問題に対する理解の促進推進
 - 男女共同参画社会の実現に向けた意識の向上

大項目
2

みんなが心も体も健康で互いに支え合い
思いやりをもって暮らす「健やかなまち」

- 健康づくりの推進
 - ライフステージに応じた健康づくりの推進
 - 疾病の予防・早期発見・重症化予防の推進
 - 地域医療体制の充実
- 地域福祉の推進
 - 共に助け合う地域づくりの推進
 - 包括的な支援体制の整備
 - 生活困窮世帯への支援の充実
- 高齢者福祉の推進
 - 生きがいづくりと社会参加の促進
 - 地域包括支援センターの機能強化
 - 認知症とともに生きるまちづくりの推進
 - 介護保険の持続的な運営
- 障がい者福祉の推進
 - 障がいに対する理解の促進
 - 障がい福祉サービスの充実
 - 地域生活支援の充実

大項目
3

みんなが魅力と実力を認識し交流を
広げながら楽しく暮らす「誇れるまち」

- 市民との協働によるまちづくりの推進
 - 協働のまちづくりの推進
 - 地域活動拠点の整備
 - 多文化共生のまちづくりの推進
- 生涯学習の充実
 - 多種多様な学びの機会と活動の場の提供
 - 青少年の健全育成の推進
 - 若者の活動支援
 - 読書環境の充実
- 文化芸術の振興
 - 文化芸術を活用した地域づくりの推進
 - 文化芸術活動の充実
 - 文化財の保存と活用
- スポーツの充実
 - ライフステージに応じた身体活動の推進
 - スポーツ系事業を通じた人的交流の促進
 - スポーツ環境の整備
- シティプロモーション・移住定住の推進
 - 魅力発信の推進
 - シビックプライドの醸成
 - ふるさと納税の強化
 - 移住定住の促進

大項目
4

みんなが生きがいをもって働き
賑わいを創出し豊かに暮らす「活力あるまち」

- 農業の振興
 - 農畜産物の生産振興
 - 担い手の確保と生産基盤の整備
 - 農業・農村の魅力向上と PR
 - 環境に配慮した農業の推進
- 林業の振興
 - 健全な森づくりの推進
 - 担い手の確保と育成
 - 木材の利用促進
 - 野生鳥獣による農林業被害軽減
- 商工業の振興
 - 商業の振興
 - 工業の振興
 - 中小企業の経営支援
- 企業誘致の推進と働く環境づくり
 - 企業誘致の推進
 - 人材の確保・定着支援の充実
 - 働きやすい労働環境づくりの推進
- 観光の振興
 - 情報発信・案内の拡充
 - 観光戦略の推進
 - 観光資源の充実

大項目
5

みんながきれいな環境と安全安心な地域のなかで
助け合いながら暮らす「快適なまち」

- 脱炭素社会と循環型社会の構築
 - 地域や住民と連携した脱炭素・資源循環
 - 再生可能エネルギーの導入
 - 省エネルギーの推進
 - ごみの減量化と再資源化の推進
 - 廃棄物処理施設の安定稼働と次期施設の整備推進
- 計画的な土地利用と道路交通ネットワークの整備
 - 地域の特性を生かした効率的な土地利用の推進
 - 道路網の整備推進
 - 公共交通の充実
- 地域防災・消防体制の充実
 - 地域防災力の強化
 - 消防力の強化
 - 危機管理体制の強化
 - 治水対策の推進
- 安心して暮らせる生活環境の整備
 - 住環境の充実
 - 空き家の適正管理と利活用の促進
 - 道路・橋りょう・公園の長寿命化推進
 - 安定した上下水道サービスの提供
 - 自然と調和した生活環境の充実
 - 防犯・交通安全意識と消費生活の向上
 - 斎場・市営墓地の運営

大項目
6

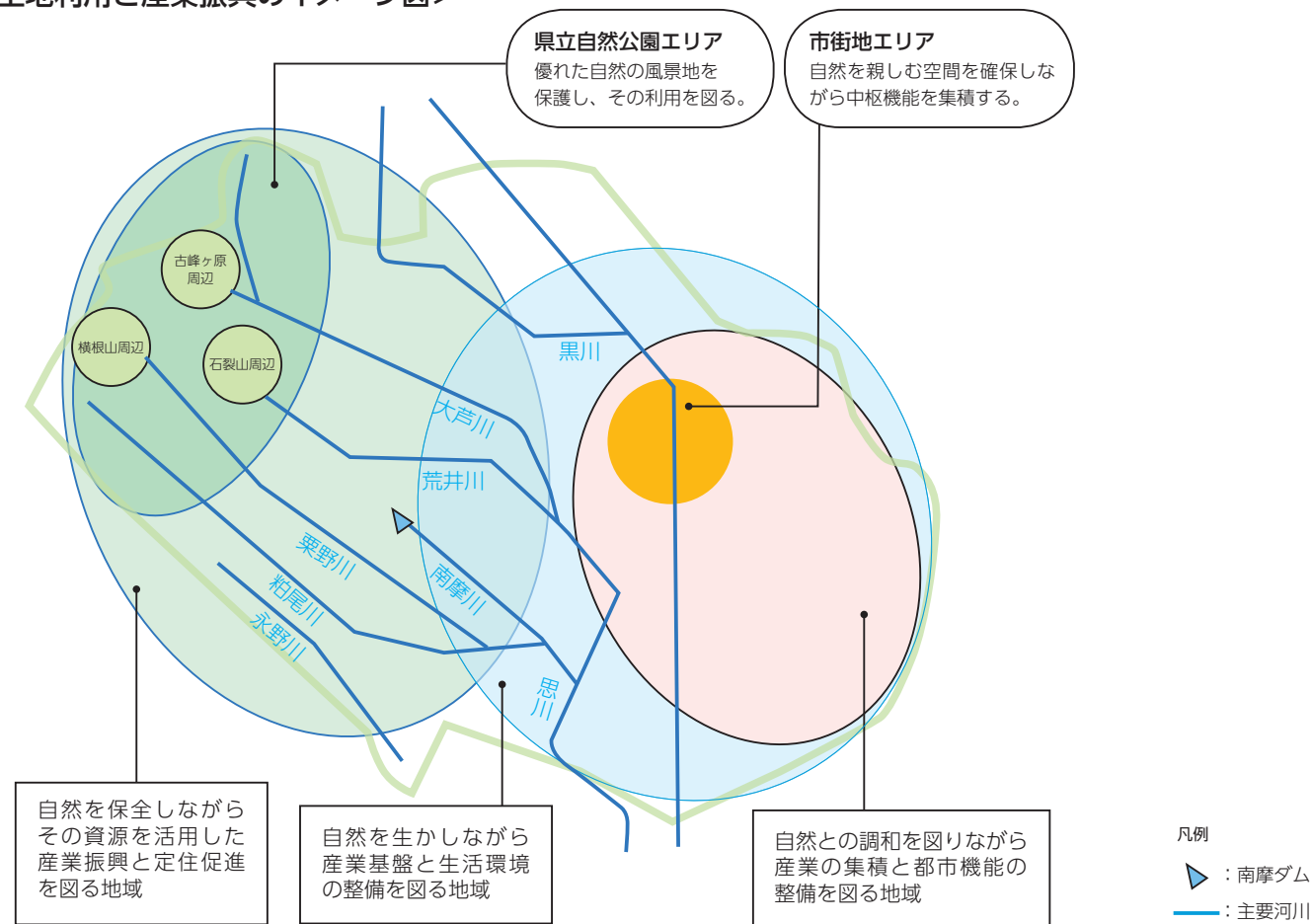
みんなが情報を共有し必要な行政サービスを受けながら便利に暮らす「開かれたまち」

- 広報・広聴の充実
 - 広報の充実
 - 広聴の充実
 - 市民参画機会の充実
- DXの推進
 - 市民サービスの利便性の向上
 - 行政業務の効率化の推進
 - 活力ある地域づくりの推進
- 安定した行財政運営の推進
 - 効率的かつ効果的な行政運営の推進
 - 健全な財政運営の堅持
 - 職員の人材育成
 - 公共施設の総合的な管理

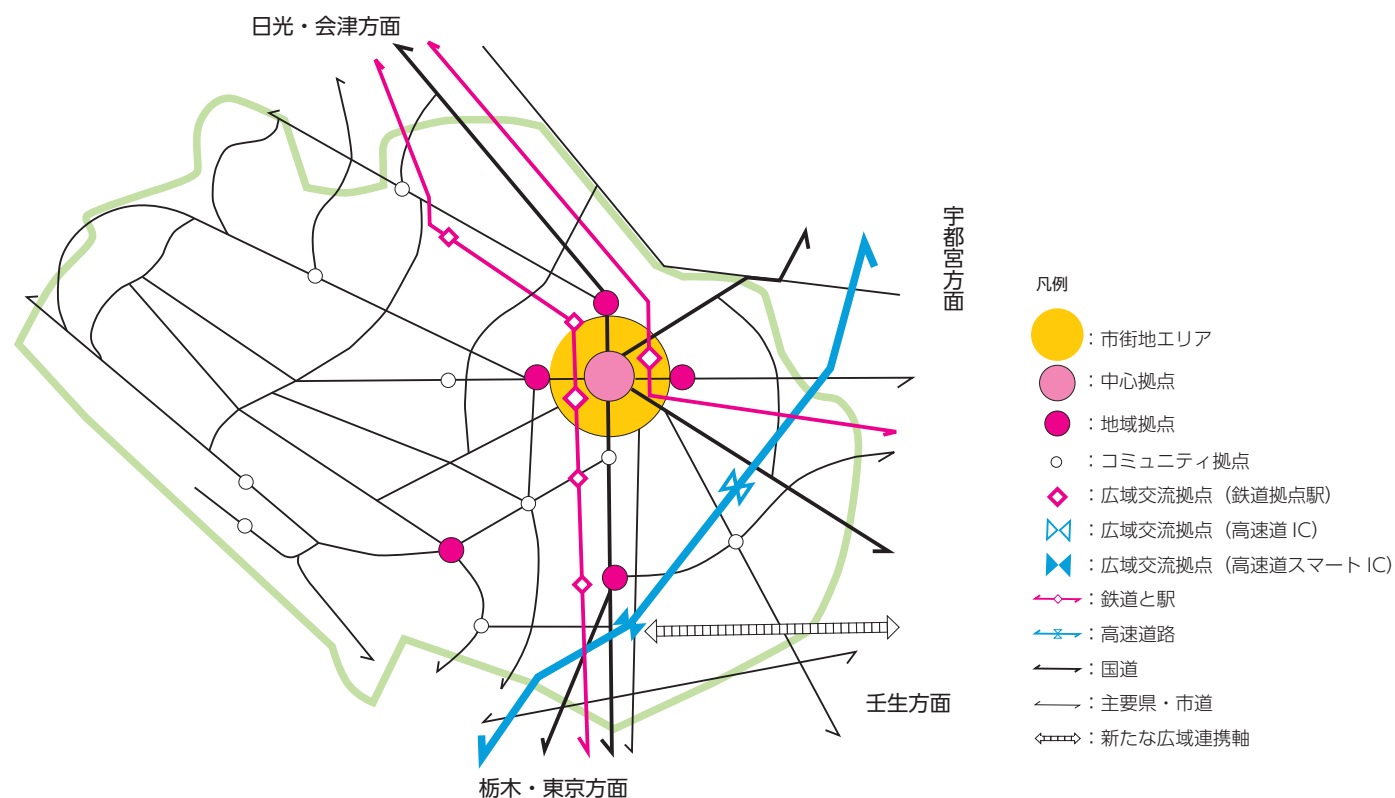


★ まちのかたち（土地利用の基本方針）

<土地利用と産業振興のイメージ図>



<まちの拠点と交流ネットワークのイメージ図>



★ 人々の定住と交流（人口、活動）

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は、2000（平成12）年をピークに減少し、今後も2060（令和42）年まで減少を続けていくと見込まれています。

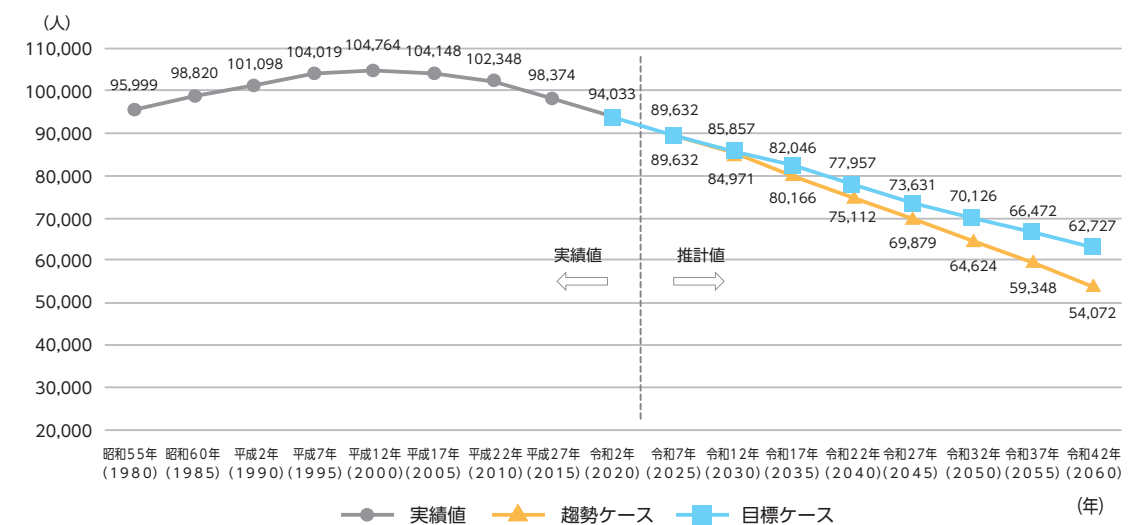
各種施策により出生率が向上しても、今後数十年間の出生数を決める若年層の大幅な人口増加は見込めないため、人口減少に歯止めをかけるには長い時間が必要となります。その中で、効果的な対策を早期に講じ、出生率の向上や転出超過の解消などができれば、将来の人口に与える影響は大きくなります。

近年の状況を見ると、人口移動による社会増減は、2～5月の進学・就職の季節以外の月は、転入数が転出数を上回っており、鹿沼市への移住希望も新規就農等を含め少しずつ増えている傾向も見られます。

将来にわたって活力ある地域社会を維持していくため、国・県の施策とも連携しながら、少子化対策や移住・定住対策に取り組み、将来の合計特殊出生率を栃木県が目標とする率に向上させ、さらに、転出者が転入者を上回る転出超過を2030（令和12）年までに解消させることで、2060（令和42）年に総人口62,000人程度を維持することを目指します。

また、地域活性化を担う人材を確保していくためにも、鹿沼市と継続的に関わり合う、様々な分野の市外、県外の関係人口の創出に取り組みます。

人口の推移と推計人口



出所：（実績値）総務省「国勢調査」

※H17以前は、合併前の鹿沼市と栗野町の合算

（趨勢ケース）国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年）推計」準拠



項目	目標ケースの仮定内容
合計特殊出生率	段階的に向上し、2035年に1.47程度、2050年には、栃木県が目標とする率としている2.07程度に向上すると仮定
人口移動による社会増減	2030年までに転出者数が転入者数を上回る転出超過を解消